

公開質問状の内容などを説明する前里共同代表(右2人目)と同会のメンバー=23日、富名腰公民館



宮古島市・市議会選挙立候補予定者
公開質問状記者会見

【宮古島地下水研究会】

地下水保全で公開質問

研究会 市議選立候補予定者に

10月行われる宮古島市議会議員選挙に向けて、宮古島地下水研究会(前里和洋、新城竜一、友利直樹共同代表)は23日、富名腰公民館で会見し、同選挙の立候補予定者に地下水保全に関する考えなど9項目の公開質問状を提出すると発表した。前里共同代表は「地下水を守るためにも考え方を示してほしい。立候補予定者には真摯(しんしん)に対応してほしい」と呼び掛けた。

質問は▽市の農業や化学肥料の使用量は県内の他市町村と比べて非常に高い。耕作地のみならずゴルフリ

ゾートの芝地にも使用されており、地下へ浸透し地下水複合汚染のリスクとなり健康に影響を与える可能性がある。実態調査を実施し、市民への情報公開について▽健康に影響する環境化学物質の適正な地下水モニタリング体制の構築と削減対策を地下水保全条例に明記するーなどの9項目で、賛成、反対、保留のいずれかとその理由を示すよう求めた。

今回の提言と公開質問に対しては立候補予定者に10月3日までの回答を求めており、回答内容については報道関係者への公表とイン

ターネットでの公開を予定している。

前里共同代表は「持続可能な島づくりの取り組みの根幹は、唯一の水資源たる地下水の保全と利用。水質保全は最重要課題。持続可能な地下水保全と利用そして市民や将来世代の健康を実現するための一助として、公開質問状を送付した。立候補予定者の考えを広く市民に周知していきたい」と話した。